

不動産不スキ

# 中国人留学生の仲介へ

## 賃貸マンション 国際化を支援

入居期間も半年―一年に限られる。民間アパートなどを探す場合も、保証人の確保難や言葉、習慣の違いなどを理由に「敬遠するオーナーも少なくない」(同社)という。(中原功一朗)

化の進展で、外国人留学生在は増加し、五月現在で五百四十九人。うち中国人は三百十三人と六割近くを占める。県内最多の二百七十

地場不動産仲介・管理のコスギ不動産(熊本市)は六日、賃貸マンションへの中国人留学生の仲介業務を来年二月に始めることを明らかにした。県内でも中国人をはじめ外国人留学生が増加しているが、宿舍の収容数が追いついておらず、地域の国際化を支援する観点から県内で初めて事業化した。

仲介は県内の大学や日本語学校の学生が対象と締結し、保証人が見つけにくい留学生に対応する。敷金と仲介手数料は取らず、家賃を月二万五千―三万五千円に抑える。事業は少子化やマンション立地の拡大に伴う賃貸物件の空室増に対応する狙いもある。県内でもグローバル

薩摩街道歴史ふれあいウォーク  
【川端上天草市長】11時50分 麻生太郎首相との意見交換会(天草市)  
【安田天草市長】8時半 牛深あかね市・いきいきマーケット▽10時 第35回牛深海中公園マラソン大会▽13時 歳末ふれあいのつどい2008



中国人留学生を対象にコスギ不動産が用意する中国語の入居者向け注意文書